

領家中だより

横浜市泉区領家 4-3-1

TEL 811-6641

FAX 812-9645

令和4年11月30日

横浜市立 領家 中学校

学校長 熊野 リカ

No. 7

「誰ひとり取り残さない」を目指して

副校長 朝川 健太郎

全国各地で紅葉が見ごろを迎え、校庭の銀杏や桜の落ち葉が舞う季節となりました。朝夕は10度を下回るほどの冷え込みとなり、冬がすぐそこまで来ていることを実感します。一方、中東のカタールではサッカーワールドカップが開幕しました。4年に1度のサッカーの祭典。例年6～7月に開催されるこの大会が今回は11～12月開催。これは、カタールの暑さを避けたためだそうです。カタールの首都ドーハの6～7月の平均気温が約35度。40度を超える日もあるということでサッカーを行うには非常に過酷な状況です。そのため、平均気温が25度程度である11～12月に開催することをFIFA（国際サッカー連盟）が決めたということです。日本のJリーグもワールドカップの日程に合わせ、11月初旬で全日程を終了しています。優先すべきは何かを考え、前例にとらわれず、変えるべきところは変える。学校教育にも当てはまる大切な考えではないでしょうか。

学校教育も教室で黒板とノートを使って一斉に行う授業から、一人ひとりの状況やニーズに応じて多様な学びが実現できるように変革してきています。領家中学校でも、一人ひとりの状況に応じて場所や時間、学習方法を選んで学習ができるよう様々な取組を行っています。具体的には以下のような取組です。

- ① 特別支援教室（オアシス）における個別学習
- ② Google Meetを使ったオンラインでの授業参加
- ③ Web学習システム「デキタス」を使った自主学习
- ④ ロイロノートを使った課題の提示や提出、授業の黒板写真の配信



オアシスにおいては、授業中苦手な教科だけを個別学習で行ったり、放課後残って大学生の学習ボランティアと一緒に学習をしたりすることができます。また、教室で皆と一緒に学習することが難しい時にオアシスで学習することもできます。学習教材としては、教科書や問題集を用いて学習するだけではなく、「デキタス」というデジタル教材を使ってクロームブックで学習することもできます。「デキタス」では、小学1年生から中学3年生までのすべての教科の学習ができるようになっており、自分のペースで学年や教科を選んで学習できます。また、自宅のパソコンやタブレットを使って家庭学習に使用することもできます。何らかの事情で学校に来られない時にはGoogle Meetを使ってオンラインで授業に参加することもできます。ロイロノートでは、必要に応じて授業の黒板の写真を配信したり、教師から配信された課題に自宅で取り組んだりする教科もあります。また、取り組んだ課題をロイロノートで提出することも可能です。

コロナ禍で学校教育は様々な制限を強いられました。また、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しました。そんな中、子どもたちの学習を保証するためにICTの活用が進み、オンラインによる学習が可能となりました。今後は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けてICTを活用したり、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせて多様な学びを実現するために活用したりすることで、「誰ひとり取り残さない」持続可能な学校を実現していければと考えております。

これからも、領家中学校の教育活動に対し、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

横浜市合同体育祭

2年間は泉区での合同体育祭でしたが、今年度は3年ぶりに横浜市合同体育祭が実施されました。10月12日（水）に三ツ沢公園陸上競技場に横浜市内の個別支援級が集まって行われました。領家中学校の生徒は、50m走、100m走、400m走、ハンドボール投げ、男子リレーに参加しました。普段の体力づくりの成果を生かして活動することができました。みんなが全力でそれぞれの種目に臨んでいる姿や他の種目に参加しているクラスメイトを応援する姿はとても素敵でした。



大会入賞者

400m走 1年男子の部 5位

3年ぶりの愛川宿泊学習

11月9日（水）、10日（木）に個別支援級は愛川ふれあいの村に宿泊学習に行ってきました。とても天気良く、紅葉がきれいに色づいていました。泉区内9校の個別支援級が集まり、他の中学校の生徒と班を組んで活動を行いました。生徒たちは、ダム放水を見学したり、夜の集いやディスクゴルフなどのレクリエーションに参加したりして、充実した時間を過ごすことができました。他校の生徒たちや先生たちと親睦を深めることができた2日間になりました。

（個別支援級 小川 一樹）



<令和4年度 横浜市中学校総合体育大会閉会式>

11月2日（水）に横浜武道館で3年ぶりに横浜市中学校総合体育大会閉会式が行われ、本校3年生が司会を務めました。昼休みに校長先生と原稿を読む練習を行い、当日は堂々とその役割を果たすことができました。来賓の先生方からも発声や所作が素晴らしかったという感想をいただきました。

<代表生徒の感想>

司会を務めるのは初めてで、楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り混じった状態でした。会場はとても広くて新しく、少し緊張しましたが司会を進めていくうちにリラックスして校長先生との練習通りに話せました。楽しかったですし、司会という役割を経験できて良かったです。

中川ふれあいまつり

11月6日(日)に中川地区センターで中川ふれあいまつりが行われました。開会式では、茶道部が中川連合町内会より感謝状をいただきました。お祭りでは、囲碁部や吹奏楽部、綿菓子づくりのボランティアなど、多くの領家中学校生が地域の方とふれあうことができました。

避難訓練 実施

11月22日(火)に、地震を想定した避難訓練を実施しました。机の下にもぐり、避難経路の安全確認、廊下に整列し、グラウンドへ避難しました。「お(さない)か(けない)し(ゃべらない)も(どらない)」を徹底し、訓練を終えました。防災に対する意識を今後も高めていけたらと思います。

総務省消防庁のHPに、防災に関する記事やマニュアルが記載されています。災害は、いつおとずれのかわかりません。どんな時でも冷静に行動できるように、今一度、避難の確認をしておきましょう。

(保健安全指導部 三浦礼智)

2 家庭の防災会議

|(1)大地震のとき、家族があわてずに行動できるように、ふだんから次のようなことを話し、それぞれの分担を決めておきましょう。

家の中でどこが一番安全か救急医薬品や火気などの点検幼児や老人の避難はだれが責任をもつか避難場所、避難路はどこにあるか避難するとき、だれが何を持ち出すか、非常持出袋はどこに置くか家族間の連絡方法と最終的におち会う場所はどこにするか昼の場合、夜の場合の家族みんなの分担をはっきり決めておく。

総務省消防庁のHP

「地震に自信を」より引用

職場体験が無事終了しました。

11月2日。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年間できなかった職場体験を実施することができました。受け入れてくださった事業所みなさんに感謝申し上げます。

電話での打ち合わせや係別打合せを通して、準備を進めました。当日の朝は、事業所からの連絡等もなく、時間を守って集合し、活動に参加できたのだとホッとしました。学年職員で各事業所を巡回し様子を見させていただきましたが、みんな生き生きした顔で活動できていました。事後学習のスピーチでは「働く」ことの大切さやそれぞれの仕事のやりがい、大変さや難しさ等、それぞれが感じたことを発表していました。今回の経験が将来を考える一歩になればと思います。